

研究員 の眼

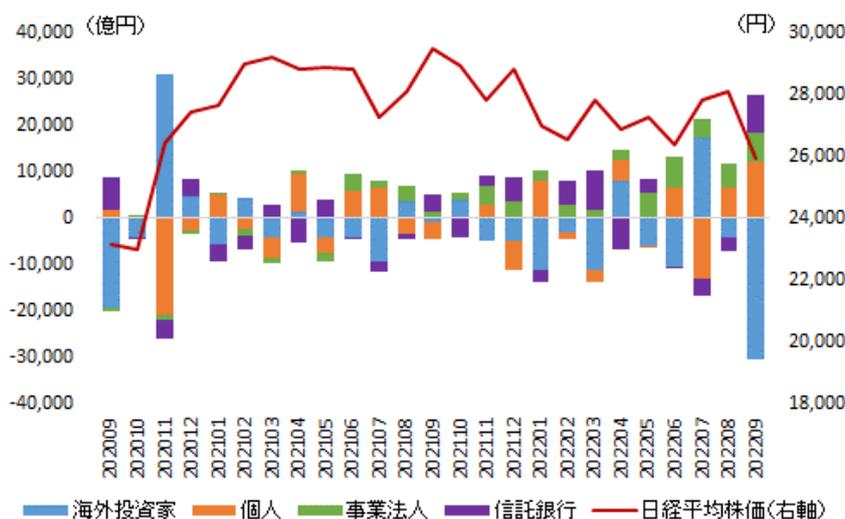
海外投資家が2020年3月以来の 大幅売り越し

～2022年9月投資部門別売買動向～

金融研究部 研究員 森下 千鶴
(03)3512-1855 mchizuru@nli-research.co.jp

2022年9月は、上旬は一時2万7,500円を下回るも、その後、反発し12日に2万8,500円まで上昇した。しかし、13日夜に公表された米経済指標で今後の金利引き締めや景気後退懸念が嫌気されて米国株が大幅に下落したことを受け、翌14日の日経平均株価は約800円安と大幅に下落し、再び2万8,000円を割れた。下旬も米国の金融引締め姿勢や、英国発の信用不安などから続落し、日経平均株価は7月1日以来となる2万6,000円割れし、2万5,937円で終えた。主な投資部門別で見ると、個人、信託銀行、事業法人が買い越し一方で、海外投資家が大幅に売り越した。

図表1 主な投資部門別売買動向と日経平均株価の推移



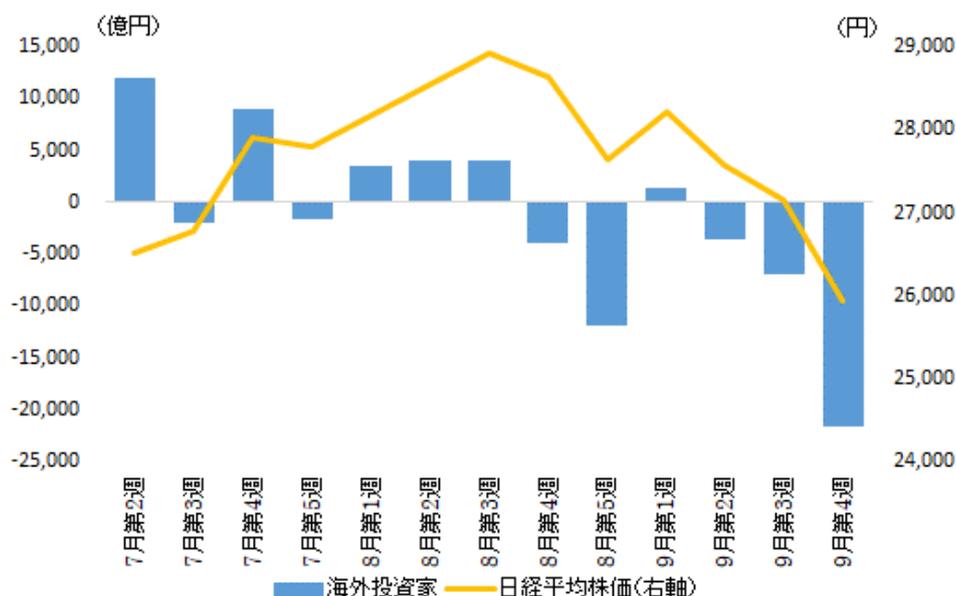
単位: 億円 (億円未満切り捨て)		海外投資家	個人	証券会社	投資信託	事業法人	生保・損保	都銀・地銀等	信託銀行	日経平均株価 (円)
月次	202207	17,388	-12,830	-261	-7,056	4,002	-19	1,359	-3,881	27,801.64
	202208	-4,267	6,478	40	-2,741	5,320	-680	-2,492	-2,663	28,091.53
	202209	-30,519	12,178	366	4,661	6,406	-477	-1,440	8,009	25,937.21

(注) 現物は東証・名証の二市場、先物は日経225先物、日経225mini、TOPIX先物、ミニTOPIX先物、JPX日経400先物の合計

(資料) ニッセイ基礎研DBから作成

2022年9月（9月5日～30日）の主な投資部門別売買動向は、海外投資家が、現物と先物の合計で3兆0,519億円の売り越しと2020年3月以来の規模となり、最大の売り越し部門となった。週ごとにみると9月第1週（9月5日～9日）は1,249億円買い越したが、2～4週（9月12日～30日）は3週連続で売り越した。特に9月第4週（9月26日～30日）は日経平均株価が下落幅約1,200円と大幅に下落する中、現物と先物合わせて2兆1,564億円を売り越していた。

図表2 海外投資家は9月第4週に大幅売り越し



(注) 海外投資家の現物と先物の合計、週次
 (資料) ニッセイ基礎研 DB から作成

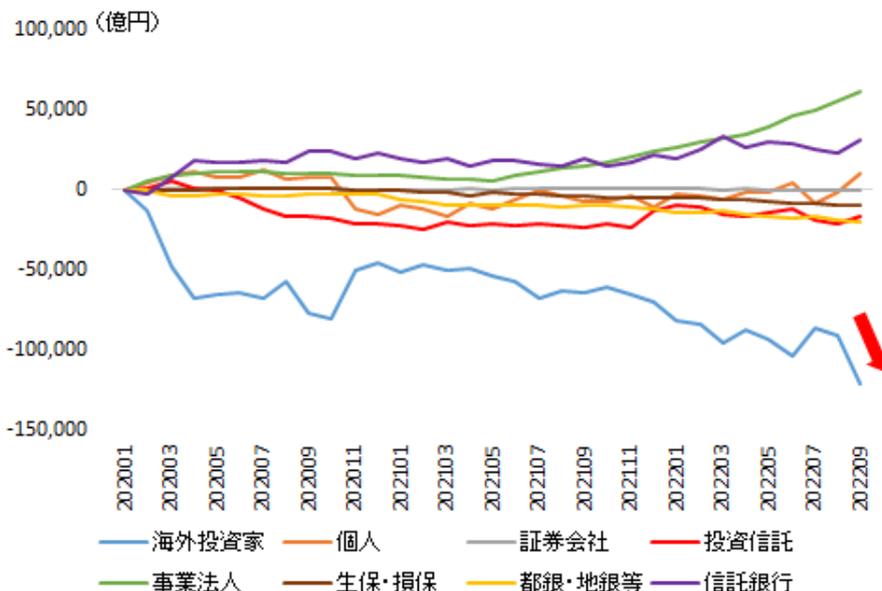
海外投資家が大幅に売り越した背景には、9月に入ってから的大幅な円安進行もあるが、9月13日夜に発表された米消費者物価指数（CPI）が前年同月比8.3%（予想8.1%）と市場予想を上回る上昇率だったことから、米国の金融引締め姿勢やインフレの長期化への警戒感が高まったことがある。さらに下旬は、9月20、21日に開催された米FOMCで0.75%の利上げの決定や利上げ見通しが予想以上にタカ派的だったこと、さらに英トラス政権が発表した財政政策をきっかけに信用不安が高まり、英国株や英ポンドが下落したことから、世界的にリスクオフ姿勢がやや強まった。それに伴って海外投資家による日本株式の売却も、月末にかけ増えた様子である。

その一方で個人は、現物と先物の合計で1兆2,178億円の買い越しと9月最大の買い越し部門であった。9月第1週（9月5日～9日）は2,336億円売り越したが、2～4週（9月12日～30日）は1兆4,512億円を買い越した。株価が下落したときに買いを入れるという個人の逆張り姿勢は健在だったようだ。

他には、信託銀行が8,009億円の買い越しと2022年5月以来の買い越し、事業法人が6,406億円の買い越しと16ヶ月連続で買い越した。このように国内投資家は9月に概ね買っていたものの、あまり

に海外投資家の売却が大きかったため、日経平均株価は大幅な下落となった。

図表3 投資部門別の累積売買動向



(注)現物は東証・名証の二市場、先物は日経 225 先物、日経 225mini、TOPIX 先物、ミニ TOPIX 先物、JPX 日経 400 先物の合計
 (資料)ニッセイ基礎研 DB から作成

図表 4 は、2015 年～2021 年の海外投資家の月次売買動向について、買い越した月と売り越した月をそれぞれ数えたものである。

図表4 海外投資家は 10 月は買い越す傾向

	現物		先物		現物と先物合計	
	買い越し	売り越し	買い越し	売り越し	買い越し	売り越し
1月	2	5	2	5	2	5
2月	2	5	4	3	3	4
3月	2	5	1	6	1	6
4月	6	1	4	3	6	1
5月	2	5	4	3	3	4
6月	0	7	2	5	1	6
7月	3	4	4	3	2	5
8月	1	6	2	5	2	5
9月	0	7	4	3	3	4
10月	6	1	4	3	5	2
11月	4	3	5	2	4	3
12月	4	3	3	4	3	4

(注)海外投資家の 2015 年～2021 年の月次の売買動向について、買い越した月と売り越した月を集計。
 (資料)ニッセイ基礎研 DB から作成

過去7年をみると、偶然かもしれないものの、海外投資家は10月に買い越している年が多く、特に現物だと2018年を除いた6年は買い越していた。現物に限れば、10月は他の月に比べて海外投資家が買いやすい傾向があるのかもしれない。9月に2020年3月以来の大幅売り越しとなったが、過去の例のように10月は海外投資家が戻ってくるのか、さらに売却するのか注目してみたい。

以上

お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。